

2008年4月30日
東日本旅客鉄道(株)

2008年3月期決算説明会 主なQ & A

Q: 2009年3月期の営業キャッシュフローが6,000億円、設備投資が4,440億円、債務削減が300~500億円ということだが、残りは株主還元で充てるのか。

A: 「グループ経営ビジョン2020 - 挑む - 」で示した方針に基づき、現金配当については配当性向30%に向けて段階的に、着実に引き上げていく。

Q: 2009年3月期のショッピング・オフィス事業セグメントの営業利益を61億円増益で見込んでいるが、東京ステーションシティの利益の増加を勘案すれば、もう少し営業利益は増加するのではないか。

A: 首都圏等の駅ビルの一部で、リニューアル工事や、耐震補強工事等による休業を計画しており、これらがショッピング・オフィス事業セグメントの減収減益の要素となることを見込んでいる。

Q: 2008年3月期のその他事業セグメントが計画に対して上ぶれた要因は何か。

A: ひとつは、「ホテルメトロポリタン丸の内」、「ホテルメッツ高円寺」に既存のホテルも含め、ホテル部門が非常に好調だったということがある。もうひとつは、ジェイアール東日本メカトロニクス、ジェイアール東日本情報システムの外部売上が増えたことで、営業利益が増えたことがある。

その結果、その他事業セグメントの営業利益は140億円の計画に対して、173億円の実績となった。

以上